

別紙 1 医療情報システム要求仕様書

要求仕様								必須
25							透析部門システム	
25	1						基本要件	
25	1	1					システム環境	
25	1	1	1				サーバクライアント方式とし、サーバは当センターの指定のサーバ室のラックに搭載すること。	
25	1	1	2				サーバの仮想化に対応すること。	
25	1	1	3				クライアント入力端末は医療情報システム端末と相乗りできること。	
25	2						医療情報システムとの連携	
25	2	1					医療情報システム連携機能	
25	2	1	1				患者基本情報(氏名、ID、生年月日、原疾患、アレルギーや禁忌薬剤などの禁忌情報など)は医療情報システムから取得できること。	
25	2	1	2				医療情報システムに登録した透析依頼情報を透析システムに取り込むことができること。	
25	2	1	3				透析システムで透析指示、透析スケジュールの予定情報を、医療情報システムへ送信できること。	
25	2	1	4				医療情報システムに登録された検査結果データを透析システムに取り込むことができること。	
25	2	1	5				透析システムの実績データを医療情報システムに送信できること。	
25	2	1	6				医療情報システムから透析記録をリアルタイムで参照できる機能を有すること。 また、以下の情報を確認できること。	
25	2	1	7				<ul style="list-style-type: none"> ・記録情報（患者氏名、性別、血型、透析通算回数、実施日、実施時間帯、開始/終了時間、血液浄化法、前体重、後体重、ドライウェイト、前回後体重、直近CTR値および測定日） ・薬剤および器材情報（浄化装置、浄化器、血液回路、透析液、穿刺針A/V、補液量、抗凝固剤、ワンショット量、持続量、総投与量、処置薬剤） ・担当スタッフ情報（医師、看護師、技士） ・バイタル情報（収縮期血圧、拡張期血圧、脈拍、体温） ・機械情報（積算除水量、除水速度、静脈圧、透析液圧、TMP、透析液流量、透析液濃度、透析液温度、抗凝固剤量、血流量、補液経過量、補液速度） ・コメント情報（問題点、特記事項、次回の注意点） 	
25	2	1	8				医療情報システムの利用者IDおよびパスワードと連携し、医療情報システムから起動する場合は、ID、パスワードの入力が不要であること。	
25	2	1	9				医療情報システムに血液浄化記録をPDFにて送信・登録ができること。	
25	3						機器連携	
25	3	1					体重計連動機能	
25	3	1	1				前体重測定時に、患者名、体重値、ベッド番号などの情報が集約されポップアップ表示ができること。	
25	3	1	2				測定した前体重を基に本日の除水量が自動的に計算され、透析装置に送信できること。	

別紙 1 医療情報システム要求仕様書

要求仕様							必須
25	3	1	3			後体重測定時に、患者名、後体重値、除水残値などの情報が集約されポップアップ表示ができること。	
25	3	1	4			前体重・後体重を測定後に、体重値が自動的に透析記録に反映できること。 また、その透析記録の自動印刷機能も有すること。	
25	3	2				透析装置連動機能	
25	3	2	1			透析装置と連動可能であり、透析開始前には透析条件を送信できること。	
25	3	2	2			透析装置と連動可能であり、透析中には、透析装置機械データ、血圧関連データが取得できること。	
25	3	2	3			複数メーカーの透析装置が混在している環境下でも、メーカー機種に依存することなく、同一にデータ取得ができ、透析記録にデータを反映できること。	
25	3	2	4			透析装置との連動は透析医学会推奨の標準プロトコルVer3.0、Ver4.0をサポートできること。	
25	3	3				特殊血液浄化（アフエレシス）機能	
25	3	3	1			アフエレシスについても透析同様に指示・記録が管理ができること。	
25	3	3	2			データ出力可能な機種については、データ取込みの検討ができること。	
25	4					透析部門システム機能	
25	4	1				患者基本情報機能	
25	4	1	1			3箇所以上の患者連絡先情報の登録が可能であり、医療情報システムの患者基本よりデータ連動を行うこと。	
25	4	1	2			シャント情報の管理が可能なこと。その際、シャント写真が保存できること。	
25	4	1	3			住所の入力時に郵便番号検索、全国透析施設の施設名の検索ができ、登録ができること。	
25	4	1	4			透析導入施設などを入力する際に日本透析医学会に登録されている全国透析施設の施設名の検索ができること。	
25	4	1	5			入退院転入処理時に入退院先施設の検索/登録が可能であり、履歴管理ができること。 また、転院処理を行う際、同時に転院後の透析スケジュールなどの関連データが自動的に削除できる機能を有すること。	
25	4	1	6			感染症情報、アレルギー情報の登録管理ができること。	○
25	4	1	7			CTR情報は胸廓、心径よりCTRが自動計算し、当日測定時の体重値の自動反映ができること。	
25	4	1	8			死因を入力する際に日本透析医学会が指定する死因コードが自動的に反映できること。	
25	4	2				透析スケジュール機能	
25	4	2	1			透析スケジュールの登録ができること。	○
25	4	2	2			透析スケジュールは、スケジュールマスターとして曜日別、ベッド番号別に時間帯を指定して患者を割り当てることができること。	○
25	4	2	3			患者割り当てはドラッグアンドドロップなどの操作で簡単に対応できること。変更時は注射などの付随した指示も連動して変更されること。	○
25	4	2	4			透析スケジュールは未来のスケジュールを無制限に作成できること。	

別紙1 医療情報システム要求仕様書

要求仕様							必須
25	4	3				透析指示管理	
25	4	3	1			透析指示および処置指示の登録ができること。	○
25	4	3	2			透析指示は定期透析指示として開始日を指定し登録できること。 その際、特に終了日の指定が無い場合は継続して有効な指示として登録できること。	○
25	4	3	3			透析指示は曜日別指示として、曜日を指定し、定期指示より優先して使用が可能な指示が発行できること。	
25	4	3	4			透析指示は臨時指示として、日付を指定し、定期指示、曜日別指示より優先して使用が可能な指示が発行できること。	○
25	4	3	5			未来の透析指示の登録ができること。	○
25	4	3	6			処置指示として、実施区分、処置手技名、薬剤、薬剤使用量、実施時間が任意複数登録ができること。	
25	4	3	7			当日の臨時オーダー（注射、処置）の入力ができること。	○
25	4	3	8			患者の治療時の状態により有効になる約束指示の入力ができること。	
25	4	3	9			透析指示の指示履歴の検索、表示ができること。	○
25	4	3	10			指示を変更したときに指示変更が伝達できる方法があること。 コメント入力等で看護師に伝達できること。 また、患者一覧で確認できること。	
25	4	3	11			指示出し・指示受け機能を有し、指示作成者・指示受者の履歴を管理できること。	
25	4	4				透析準備機能	
25	4	4	1			透析準備として、指定した日付、時間帯により該当日のベッド毎の準備表の出力ができること。	
25	4	4	2			透析準備として、指定した日付、時間帯の機材の集計及び集計表の出力ができること。	
25	4	5				透析経過記録	
25	4	5	1			透析記録入力ができること。	○
25	4	5	2			1日2回及び24時を超えた透析が対応できること。	
25	4	5	3			有効な透析指示と透析スケジュールの情報をもとに情報を引用し透析記録を作成することができること。	○
25	4	5	4			透析実施入力の一括入力可能なこと。	
25	4	5	5			透析記録は血圧、脈拍、除水量のグラフ表示ができること。	
25	4	5	6			コメント入力は事前に登録した定型文を選択することによってコメントが入力できること。また、その内容はユーザ自身で編集ができること。	
25	4	5	7			観察項目はフリー記載可能な項目として追加可能であること。	
25	4	5	8			血圧情報と透析機械情報は自動的または手動により透析記録に書き込むことができること。 また、表示したい情報の並び順を任意に変更できること。	
25	4	5	9			透析中に使用する定期薬剤・処置内容が自動的に透析記録に反映できること。	
25	4	5	10			透析中に実施した臨時処置の登録ができること。	
25	4	5	11			透析装置の警報内容が透析記録に自動的に登録ができること。	
25	4	5	12			治療開始時間と終了時間により自動的に治療時間を計算できること。	

別紙 1 医療情報システム要求仕様書

要求仕様							必須
25	4	5	13			担当者情報として医師名、技士名、看護師名、穿刺者名、回収者名、プライミング者名が登録できること。	
25	4	5	14			血圧情報として血圧測定時刻、血圧H、血圧L、脈拍のデータを自動または手動登録ができること。	
25	4	5	15			透析記録に機械情報としての日本医療機器テクノロジー協会の定める共通プロトコルVer3、4準拠のデータが自動または手動で複数登録ができること。	
25	4	5	16			透析記録に血圧、脈拍、積算除水量の時系列データをグラフ表示ができること。	
25	4	5	17			バーコードを用いて患者の投薬の可否をチェックし、投薬が可であれば投薬の実施者をバーコードにより登録できること。	
25	4	5	18			当センターの指定するフォーマットで血液浄化記録を印字することが可能なこと。	
25	4	5	19			透析記録とは別にアフエレシスの記録も作成できること。	
25	4	5	20			アフエレシスは1日複数回の実施、時間制限なく記録の作成できること。	
25	4	6				検査結果確認機能	
25	4	6	1			検査結果を検索する時に、表示したい検査項目を指定してテンプレートの作成ができること。	
25	4	6	2			検査結果として、任意の日付を指定し、当日検査した患者の検査結果を指定し、表示できること。	○
25	4	6	3			検査結果は簡単にExcelへ出力することができること。	○
25	4	6	4			患者毎の検査異常値の検索ができること。	○
25	4	6	5			検査結果として、透析前、透析後の検査を並べて表示し、除去率の計算などができること。	
25	4	6	6			KT/V、PCR、体重増加率などの計算が簡単に表示できること。	
25	4	6	7			検査値等は許容範囲を設定でき、逸脱する場合はお知らせ機能があること。	
25	4	7				日報・月報機能	
25	4	7	1			透析日報の自動集計、作成ができること。	
25	4	7	2			透析月報の自動集計、作成ができること。	
25	4	8				患者状況提供書機能	
25	4	8	1			当センターの指定するフォーマットで患者転院時の透析状況を印刷できること。	
25	4	8	2			紹介先の施設は日本透析医学会に登録されている全国透析施設の施設名で検索ができること。	
25	4	8	3			患者紹介状の作成は作成時に最新情報を集計して反映できる機能があること。作成履歴が管理できること。	
25	4	8	4			看護サマリーとして、透析条件ならびに感染症、看護・介護状況の登録、印刷ができること。	
25	4	9				集計・統計機能	
25	4	9	1			ダイアライザの使用状況を患者別、製品別、全体で集計することが可能なこと。	
25	4	9	2			死亡患者年度別集計が可能であること。また、印刷、データ保存ができること。	

別紙 1 医療情報システム要求仕様書

要求仕様							必須
25	4	9	3			導入患者年度別集計が可能であること。また、印刷、データ保存ができること。	
25	4	9	4			転入・転院患者年度別集計が可能であること。また、印刷、データ保存ができること。	
25	4	9	5			日本透析医学会から求められる統計調査を集計することが可能なこと。 また、集計結果は直接集計先のExcelファイルに出力可能なこと。	
25	4	10				フットケア管理機能	
25	4	10	1			フットケアを実施した内容を管理できること。	
25	4	10	2			Fontaine分類、ABI、SPP、検査日が入力・確認ができること。	
25	4	10	3			視診・触診、ケア内容、指導内容が入力・確認ができること。	
25	4	10	4			フットケア実施時の写真がシステム管理でき、患者の足の状況が確認できること。	
25	4	10	5			フットケア実施時の写真にコメントを書き込みができること。	
25	4	11				リモート保守サポート機能	
25	4	11	1			当センターが指定するリモート回線を利用したリモートメンテナンスが対応可能なこと。	○